

# 令和5年度美浜町立和田小学校(学校経営方針)スクールプラン

## 美浜町学校教育目標

- 生活や学習の基盤を育成し、確かな学力をつける。
- 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童・生徒を育てる。

## 保護者・地域の願い

- 子どもに学力をつけてほしい。
- 優しい子どもに育ってほしい。
- 友達と仲良く、楽しく過ごしてほしい。
- 家庭学習が習慣づいてほしい。
- あいさつができるようになってほしい。

## 【学 校 教 育 目 標】

自ら学び たくましく生きる  
心豊かな子どもの育成

## 【めざす児童像】

- ・進んで学ぶ子 基礎学力が身に付き学ぶ意欲がある児童
- ・明るく思いやりのある子 他人を大切にし、責任感と協調性がある児童
- ・健康でたくましい子 体を鍛え、心の強さを持つ児童

## 前年度の学校評価

- 基礎的な学力が定着している。
- 落ち着いた学校生活を確保している。
- 読書をよくしている。
- あいさつや返事に課題がある。

## 児童の実態

- 落ち着いて学習できている。
- 基礎的な学力が定着している。
- 考えの発表に課題がある。
- 家庭学習の質的向上が必要である。
- メディアの使い方に課題がある。
- あいさつや返事に課題がある。

## 重点目標

### 教科指導の充実

- 基礎的学力の確実な定着
- 読む力・読み取る力の向上
- 読書習慣の定着
- 家庭学習の定着

### 心の教育の充実

- 道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止・早期発見・早期対策
- 特別支援教育の充実
- あいさつ・返事の励行

### 健康・安全教育の推進

- 体力向上の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

### 地域に開かれた学校

- 家庭・地域との連携充実
- 保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用推進

## 具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条（きのくに学習スタンダード）」の徹底
- 補充学習の確保
- 言語活動の充実
- 読解力を高める授業の研究
- 読書環境の整備と読書指導の充実
- 家庭学習がんばり週間の設定

- 考え議論する道徳の実践
- いじめアンケートの年間3回実施及び事後指導
- 情報モラルおよびネット社会の危険性についての研修実施
- ノーメディアデーの実施
- 特別支援学級児童への理解促進
- 合理的配慮の実施
- 学級活動や全校集会でのあいさつや返事の励行

- 夏季休暇中の水泳指導
- 全校マラソンの実施
- 全校なわとびの実施
- 「早寝、早起き、朝ごはん」や家事手伝いの推奨
- 避難訓練の実施
- 交通安全教室の実施

- 学校便り「くすの木」の発行
- 学校ホームページでの広報
- 町広報紙への記事掲載
- 授業や行事等の積極的な公開
- 保幼小中連携の推進
- ゲストティーチャーの招へい
- 福祉施設等との交流推進

## 指標

- ・全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査の正答率が全国平均や県平均を上回っている。
- ・児童アンケートで70%以上の児童が意見発表について肯定的な回答をしている。
- ・年間の図書貸出冊数が、全校で1万冊を超える。

- ・学校が楽しいと感じる児童の割合が90%以上となっている。
- ・いじめの解消率が100%となっている。
- ・障がい児者認識学習を年1回以上実施している。
- ・児童及び保護者・教職員のアンケートで、あいさつや返事について70%以上の肯定的回答を得ている。

- ・なわとび検定で前年以上の段級となっている児童が70%を超えている。
- ・朝ごはんを食べている児童の割合が100%となっている。
- ・必要に応じた避難訓練を年3回以上実施している。

- ・保護者アンケートで学校と家庭地域との連絡が緊密にできている割合が80%以上となっている。
- ・こども園や中学校との相互参観または情報交換の機会を年1回以上持っている。
- ・ゲストティーチャーの招へいが各学年1回以上となっている。

◎：特に重点的に取り組むこと